

# 「経営規模の拡大」～新たな地域への参入～

## グリーンカウベルグループ (三原市大和町)



代表取締役 茨木 栄治

設立 平成30年1月

経営面積 12ha

(うち機構活用面積1.5ha)

生産品目 ほうれん草・キャベツ・

落花生・乳牛

従業員 役員4名 常時雇用 23名

経営の特徴

堆肥を活用した野菜作り

### ～事例のポイント～

- ①ほうれん草生産の第2拠点求めて他市へ参入
- ②担い手不在地域で、新たな担い手を確保

### 地域の課題

大和町定ヶ原地区は、地区内の担い手がおらず、住民の高齢化に伴い、耕作放棄地が増加しているため、新たな担い手の確保が課題となっていました。

### マッチングのきっかけ

茨木牧場は、三次市甲奴町を生産拠点に園芸作物及び酪農を中心とした経営を行っていました。同社代表の親戚からの相談で、同地区で農業の担い手がおらず困っていることを聞き、主力品目のひとつであるほうれん草の第2拠点として参入について検討を始められました。「地域で担い手を育てていきたい」という地区のみなさんからの言葉を受け、参入を決定しました。活用する農地や管理方法などについて地域の方々と意見を交わす機会を得て話し合いを重ね、スムーズに参入することができました。

## グリーンカウベルグループ

【酪農部門】乳牛20頭

茨木牧場(酪農部門)



【園芸部門】ほうれん草・キャベツ・落花生等

茨木牧場(園芸部門)

本社農場(三次市)

(株)グリーンカウベル

大和農場(三原市大和町)



### 機構を活用して良かったこと 今後の経営の抱負

市外からの参入にあたり、地権者とのやり取りに公的な機関(機構)の仲立ちがあったため、参入がスムーズにできました。今後は次世代の社員育成を関係市(三次市、三原市)と連携して行い、グループとしての生産基盤を強固なものとしていきたいと考えています。



